

鹿児島大学病院 歯科麻酔科・全身管理歯科治療部 歯科ペインクリニック

研修施設責任者 杉村 光隆

執筆者 千堂 良造

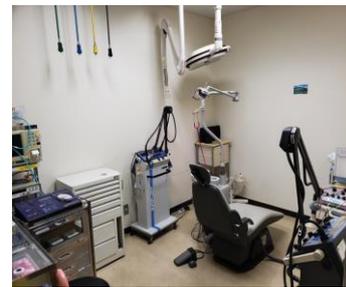
当科は、南九州圏で唯一の日本口腔顔面痛学会研修施設である。診療内容として、難治性の口腔顔面痛や感覚神経障害を対象に、薬物療法、理学療法、神経ブロック、東洋医学的アプローチなど、一般的な手法を幅広く実施している。

特に、医療面接には注力しており、歯科医師が診断に必要な情報を仕分けしながら、心身医学的対応を実施することで疼痛緩和の足がかりをつかむようにしている。疼痛構造化問診票を利用した臨床診断推論はさることながら、漢方医学として痛みに関わる「不通則痛（通じざればすなわち痛む：気血水の循環不良）」、「不栄則痛（不栄ならば痛む：気血水の不足）」、「諸痛属心（諸々の痛みは心に属す：心の失調）」の確認も行う。特に、眠れて、食べられて、話せるかを聴取し、「気血水」での判断をする。更には、和漢診療学で唱えられている「あのさめ大小（汗の有無、喉の不快、冷え、めまい、大便の性状、小便の回数・性状）」を聴取し、不快な《感覚》および《情動》体験を多角的視点で捉える。傾聴を主軸に据えつつも愁訴に応じて、共感したり、肯定も否定もせず焦点を切り替えたり、場合によってはソクラテス式質問を重ねていく。そのような面接での情報から、明確化した治療目標を患者-医療者で共有していく。診療を繰り返す中で、新たな愁訴が語られることも多く、治療目標の再設定を行うこともしばしばある。勿論、専門的な心身医学的対応で現在の困りごとが解決するケースもあるため、本人の意向も確認しつつ他科紹介する。様々な治療法は、治療目標へのアプローチとして提案させていただきます。



**診察室**

ここで医療面接を行なっています。



**処置室**

ここで理学療法、神経ブロックなどを行っています

研修施設としてはまだ5年が経過したばかりで、当該分野に携わる者は発展途上人として日々診療に勤しんでおります。痛みによって患者-医療者間で共有されるべき治療目標を見失った方、終わりのない歯科処置の繰り返しに迷い込んだ方は是非とも一度、相談頂けたらと思います。医療者の方の見学・研修につきましては現在のところ行なっておりませんが、ご連絡いただけましたら検討させていただきます。

---

**【鹿児島大学病院 歯科麻酔科・全身管理歯科治療部 歯科ペインクリニック】**

住所：〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

電話番号：099-275-5111

診療時間：【平日のみ】診療日時は不規則なため、電話にてお問い合わせください。

担当医師：杉村光隆，小島佑貴

---

日本口腔顔面痛学会 News Letter へのお問い合わせは

「日本口腔顔面痛学会事務局」まで

〒135-0033 東京都江東区深川2-4-11 一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内

TEL: 03-5620-1953, FAX: 03-5620-1960 E-mail: [jsop-service@onebridge.co.jp](mailto:jsop-service@onebridge.co.jp)